

大腸癌肝転移に対して肝切除術を受けた経験のある患者さんまたはご家族の方へ (臨床研究に対するご協力のお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター外科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはありません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

大腸癌肝転移に対する肝切除後治療成績に関する後方視的観察研究

【研究の背景と目的】

大腸癌肝転移に対しては、肝切除により長期生存が期待できる一方で、術後に再発を認める患者さんも少なくありません。再発の時期や再発の様式は、その後の治療方針や予後に影響すると考えられていますが、実際の診療における術後経過や予後の実態については、十分に整理されていない点もあります。

本研究では、当院において大腸癌肝転移に対する肝切除術を受けられた患者さんの診療情報を振り返って調査し、手術後の回復の様子や再発の状況、その後の経過にどのような要因が関連しているかについて検討することを目的としています。

【対象となる方】

2010年1月1日～2026年2月28日の間、当院において、大腸癌肝転移に対して肝切除術を受けられた患者さんが対象となります。

【使用する診療情報】

本研究では、新たな検査や試料の採取は行いません。
電子カルテ等の診療記録から、以下の情報を使用します。

- ・患者背景
- ・大腸癌および肝転移に関する情報
- ・手術内容
- ・術後経過および再発状況
- ・予後に関する情報

なお、収集したデータは研究責任者のもとで適切に管理されます。なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。

【研究期間と参加予定人数】

本研究は、当院臨床研究倫理審査委員会の承認および病院長の許可（2026年4月9日）後に開始され、2029年12月31日まで実施されます。
約110名の患者さんにご協力いただく予定です。

【個人情報の保護】

本研究で利用する情報からは、お名前や住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除し、匿名化したうえで解析を行います。
また、研究終了後にデータを廃棄する際も、個人情報が特定されないよう十分配慮いたします。

【結果の公表】

本研究の結果は、学会発表や学術論文として公表される予定です。その際も、患者さん個人を特定できる情報が公表されることはありません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 外科 吉富秀幸 主任教授

【問い合わせ先】

獨協医科大学埼玉医療センター 外科 担当者：高田武蔵 助教 内線：1314
埼玉県越谷市南越谷2-1-50 電話番号：048-965-1130（医局直通） 月～金 9:00～16:30

以上